

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月のミーティングにて理念に沿った行動ができているかの確認及び共有を行っています。	職員と一緒に検討し事業所の理念を掲げており、理念の実践ができるように年度の個人目標も設定し、個人面談で振り返りの機会も設けています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルスの影響により地域との関りはなかなか困難でした。同施設内のデイサービスやその他との関わりは持てるよう環境整備しています。	現在は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、これまでは地域のこども食堂へご利用者と一緒に作ったお菓子を寄付したり、事業所行事に地域の方にも参加していただいたり、地域の納涼会や畑作りにも参加するなどし、地域との交流を深めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご相談などがある場合には積極的にアドバイスやご支援をしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	書面開催となっていましたが、7月再開予定としています。(書類については各関係部署、ご家族へは毎回郵送しています。)	今年度は新型コロナウイルスの影響で書面開催となっていますが、ご家族、地域包括支援センター、町内会長、薬局へ事業所の状況報告を2ヶ月に1度行っています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要に応じ連携し、信頼関係を構築しています。外の掲示板等も活用し、グループホームの取組も周知できるよう努めています。	運営推進会議にて地域包括支援センター職員には、事業所の状況報告を定期的にしており、不明な点に関しては市に確認するなど、関係を構築しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	二か月に一度、委員会の開催と研修及び意見交換を実施しております。運営推進にて報告も実施しています。	身体拘束をしない方針であり、玄関の施錠も夜間帯のみとしています。また、定期的に身体拘束高齢者虐待防止委員会で研修の機会を設けるなど、職員の理解を深めています。	身体拘束高齢者虐待防止委員会の議事録で日付に関する記載ミスがありましたので、今後ミスの無いように改善されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	二か月に一度、委員会の開催と研修及び意見交換を実施しております。 運営推進にて報告も実施しています。	身体拘束同様に虐待についても事例を用いて、身体拘束高齢者虐待防止委員会で定期的に確認する機会を設けています。普段の生活の中でも対応について考えながら、防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法定研修にて実施と定期的に研修を実施しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	パンフレット、契約・重要事項説明書を用いて説明しております。また、改定時には変更合意書にて契約書の取り交わしを行っております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	都度ご意見について事業所内にて話し合い、サービスの質の向上に努めています。	ご家族の面会時や電話でのやりとりの際に意見を確認しているほか、介護計画書の見直しの際にも意向を確認しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングや個別面談を実施しています。その他、各事業管理者ミーティングにて多職種との情報共有も行ってまいります。	率直な意見や提案が職員間で共有できるように、毎月の職員会議にて職員の意見を確認する機会を設けています。また、個別面談も状況に合わせて実施しており、職員の意見や要望を把握できるように努めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的な面談の他、随時声をかけ環境を整えています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月法定研修の実施、イーケアラボ(研修教材)を使用しての研修機会の確保をしております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他営業所との繋がり及び連携が図れるよう努めています。常に電話やメールで確認ができる環境。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の生活環境やお好きだったもの、得意だったものなどお聞きし、ご本人様について把握しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の価値観や生活環境及びお気持ちを汲み取るよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相手の気持ちや思いをくみ取れるよう日頃より努力し、また必要な支援の見極めができるようしっかりとアセスメントを実施しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	第二の家、安心して過ごせる空間をご提供できるよう、相手の立場を考えて行動しています。		
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居されたら終わりではなく、ご家族あつてのご本人様ということも十分にお伝えし、事業所側としても家族との関わりが切れないよう環境作りをしています。	ご家族には毎月、活動の様子をまとめた広報を送付し情報を伝えているほか、居室担当者が毎月お手紙を送りご家族との情報の共有に努めています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会やご家族との外出をご支援しております。	現在は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、ご家族にも協力頂き受診へ出かけたリ、昔の教え子からお中元を頂く方もいるなど、関係が継続できるよう支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	手作業やレクリエーションなど皆さんで共有できることをご提供しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も必要に応じ相談やフォローしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お客様それぞれのご意見やお気持ちを伺い、反映しております。例えば食べたいものなどをお伺いしメニューの変更を行いご提供しております。	ご本人、ご家族の要望を確認し担当者会議にて一人ひとりの介護計画に反映できるよう努めています。ご利用者が表現が困難な場合も、日頃の生活の中でのお話などから意向を確認するようにしています。	
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前のご様子や担当ケアマネジャー、関係事業所と連携し、今までの暮らしを把握しております。	入居時に把握した情報だけではなく、日々の生活でご利用者との会話や、ご家族からの情報収集により情報の把握に努めています。また、定期的に情報の見直しも行っています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	残存機能の維持向上もできるようご本人の持っている能力を把握し、できることの促しを行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様のご意見やカンファレンス、日々のケアをヒントにその方に合った支援方法をご提供できるよう心掛けております。	3ヶ月に1回モニタリングを実施し、課題の把握や対応方法について検討しています。必要に応じてご家族からの意見等もお聞きし、介護計画に反映させています。	サービス担当者会議の回数について実態と異なる記載になっていましたので、今後改善されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	社内ツールスコープを活用し、日々の状態や経過を全職員が共有、把握ができるように努めております。文章だけではなく、各申し送りにて伝達しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状態変化が異変と捉えるだけではなく、生きている以上変化はあるということを念頭に置き、柔軟な対応ができるよう職員間でも周知しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在新型コロナにより交流・活用ができておりませんが、常に地域資源の収集を行っております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医でも既存担当医でも選択は可能としている。(基本的に協力医以外についてはご家族の対応としています)	ご家族に受診をお願いしているご利用者もおりますが、協力医との連携を図り適切な医療を受けられるよう支援しており、定期的に往診に来ていただいています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	担当医、看護とも必要に応じ連絡を取り合い、一人ひとりに合った対応を提供しております。 南病院の連携室とも繋がっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃よりワーカー様との関係作りに努めている(直接伺ったり挨拶周りを実施)入院時にはすぐに対応ができるよう情報提供書の作成を行っている。(必要に応じ更新)		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時や状態変化に応じご家族様、ご本人様へご説明とご意向の確認。その時には再度ご意向の確認を行っています。	重度化した場合や終末期の対応については事業所としての指針も作成し、契約時にご家族に同意を頂いているほか、状態に応じて話し合いの機会も設けています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修の実施や外部研修への参加を心がけています。	事業所で緊急時対応の研修や普通救命講習も実施しており、職員が適切な初期対応ができるように指導しています。	事故報告書の確認が職員によってだいぶ遅れている方もいましたので、確認のルールの検討をされることを期待します。
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練及び研修、その他必要な知識を身に着けるよう研修を実施。地域との連携ができるよう日頃より関係性を図っている。	定期的に併設事業所と合同で日中の火災や水害を想定した避難訓練を行ない、地域の方にも災害時の協力をお願いしています。また、災害時を想定した非常用の食品や水も確保されています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	上から目線、友人言葉などにならないよう接遇・マナーは日頃より周知・指導しています。	広報やホームページへの写真の掲載についても同意書を頂いており、情報保護に関する研修や日々の業務を通して周知徹底に努めています。また個人情報保護マニュアルを整備し、社内規定にも明記されており、対応方法を徹底しています。	個人情報使用同意書の取り扱いについて、書類が一体的に保管できるように改善されることを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	否定、決定せず、ご本人様の判断、決定ができるような声掛けを行っています。 ～しましょう、ではなく～しませんか？いかがですかという問いかけ。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員目線、効率だけを重視せず、お客様の生活スタイルに合わせて行動しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日中は季節に合わせた服装にし、夜はパジャマや就寝に合わせた服装に着替えております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みや形態などお客様一人ひとりに合った方法でご提供しております。	ご利用者の負担にならない範囲で食事の準備や後片付けも一緒に行っています。お楽しみメニューやテイクアウトを取り入れたり、ご利用者と一緒にかレーづくりも行うなど、ご利用者に食事を楽しんでもらえるよう取り組んでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取が難しい場合にはゼリーやアイスなど形態を変えてご提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	3食、食後の口腔ケアの実施。希望者へ定期歯科往診をご提供しております。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	間に合わないのであれば早めにお声がけやオムツが当たり前にせず、昼間はトイレ、夜間のみオムツといったできるかぎりの自立をご支援しております。	ご利用者全員を対象に水分・排泄チェックを行い、一人ひとりの排泄パターンを把握することで気持ちよく自然に排泄ができるように日々取り組んでいます。羞恥心を配慮した介助の必要性を職員にも周知しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	オリゴ糖やヤクルトのご提供、水分量・咀嚼などの把握に努め便秘予防に努めております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	お声がけはさせていただきますが、ご本人様の良いタイミングでお入り頂いております。	ご利用者の状況に合わせて入浴を支援し、入浴を嫌がる方も職員がタイミングを見て声かけを行い、入浴して頂けるように努めています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間、起床時間についてはご本人様のご意向に添っております。日常生活に乱れがでないようサイクルは組ませて頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	居宅療養管理指導の導入や薬剤師、主治医と連携し、適切な対応をしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	閉じこもりにならないよう散歩やお買い物など気分転換ができるようご支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人様のご意向に添い外出できるようにご支援しております。ご家族様との外出も制限せず(新型コロナに配慮し)行きたい場所、食べたいものをご提供しております。	今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、季節に合わせたお花見や神社へのお参りなど、個別の外出支援での対応もできる範囲で行っています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在所持されているお客様はいらっしゃいませんが、立替金対応しておりますので、ご希望に合わせ買い物は可能としております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の使用も自由ですし、freeWi-Fi導入しております。また、手紙やメールのやりとりも行っております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感、清潔感を取り入れ環境整備を行っております。季節の花やご家族からの送りものを飾っております。	ユニットにお花を飾ったり、共有スペースはご利用者がくつろぎながらテレビを見られるようになっています。普段の活動の様子をまとめた写真も掲示されています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自席や共有スペース以外にもソファを設置しゆったり過ごせる環境を作っております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お一人ひとりの自由に使用できるようになっております。	家具等は使い慣れたものを使用いただき、身の回りには好みものや思い出の品を飾ったり居心地のよい空間作りに努めています。また、ご家族の写真を飾ったり、ソファを置かれている入居者の方もいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	グループホームスペース以外でもエレベーターや階段などその方に合った方法で移動ができ、ホーム内はご家庭のような雰囲気を作り自立した生活が送れるよう努めております。		

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				